



議員

小川あきら

対談

角田修一



東地区の議員として、「県」と「市」の連携をどう進めてゆくか——

角田 連携ということでは、今まで市議としての対応の中で、自治会からの陳情に対し市から県へお願いしなければならないことが多く、そこにはハードルというか壁があり、なかなかもう一歩進めることができなかったことが、小川さんが県議になったことによって東地区の諸課題に対し、いくつか改善されました。そのひとつとして、中央高校のところの川曲の右折レーンですね。2、3年と置き去りにされていて、今回相談をしたことによってすぐに対応していただき、実現できたことは地域からすれば、本当に県議がいて良かったと思える部分であり、市議の立場からしても、自治会長から話を聞き県議に伝えることによって実現することができたのは意義があったと考えています。

小川 本当に、早く解決できて良かったです。確かに、自治会から直接陳情があがっても、なかなか進まないことが、議員が対応することに

よって改善されることも実際にありますよね。悲しいことですが…。

角田 一番いやなのは、受けっぱなしで回答されていないことが多くあり、毎年、毎回、同じことをやらなければ実現しないことです。しかし、それを市議から県議へ話をして経過をきちんと残すことで、次のステップへ進めることができる。連携の中で、県がやるべきこと、市がやるべきことの接点が出来たときにはどちらがすべきかを相談しながら、またその橋渡しになってほしいと考えます。

小川 市町村が中心となって対応していることが多いですね。東地区は市議が3名いらっ



他にも保育大学校跡地と東小通学路などの問題について話題があがっていました。

しゃるので、いろいろ対応していただいているのがよくわかります。要望や困ったことがあったときに、なんでも言ってもらえる関係を作ることが大切ですね。——話は変わりますが、東地区の良いところってなんだと思いますか。

角田 東地区は高崎などの隣接地域であり、西の入り口、南の入り口的要素があると思います。新前橋を拠点として駅自体も吾妻線、上越線の分岐点になり、仕事は市街、県外へ出る生活拠点としては住みやすい町だと思います。

小川 私もそう思います。県議という立場で前橋を見ると、群馬県の中ではとても恵まれていると思います。東毛や西毛、北毛はインフラの問題から違うんですね。道路がないとか施設がないとか…。そう考えると前橋は医療機関も多いです。その中の東地区をみたとき、たまたま私も前の職場が古市だったということで、縁あってここで生活することになりましたが、とにかく住みやすいというところは変えたくないですね。子供も多いので、子供たちを育てる環境を良くしていきたいです。

角田 通学路の安全対策や小学校・中学校の校舎を増やさなければならないという課題があります。他の学校に比べると一人あたりのグラウンドは狭いです。

小川 県の土地の有効活用なども課題ですね。

角田 小川さんは、東地区の方は好きですか？

小川 好きです！

角田 私も好きです(笑)。皆さんの話を聞くことによって、友達的な感覚になるという部分もあるし、話してみないとわからない部分もありますけど。

小川 角田さんは、東地区のソフトボール大会や運動会にも選手として参加していますよね。私も今年は、前箱田チームでバレーボール大会に出たいです。

角田 応援しますよ。

小川 こっちチームですか？

角田 もちろん東箱田後家ですよ。議員として挨拶にいくだけでなく、自ら参加する。地域に密着した活動が必要ですね。地域でかわいがってもらえるような議員でありたいと思いますし、使ってもらえればありがたいですね。



ピックアップ

箱田町 石坂さん

昨年の県会議員選挙のお手伝いをさせていただいて以来、小川さんとは、様々な議論を交わす機会があり、「弁護士として弱者を救済するには、行政に頼らざるを得ない部分が多すぎるため、限界がある。ならば、自分が政治家になり社会システムを変えていかなければならない」と情熱的に語る小川さんはとても印象的でした。

東地区は私の生まれ育った場所ですが、開発された地区(大利根、光が丘など)以外は、いまだ消防車も入れない様な狭い路地が多くあります。こうした地域の問題にも目を向けていただき、県議、市議の皆さんには頑張っていただきたいと思っています。



古市町 太田さん

弁護士の太田です。
昨年から古市町の法律事務所に勤務しています。私は自宅も古市町なので、東地区のイベントにも積極的に参加させていただきたいと考え、先日、卓球大会の練習に行かせていただきました。大会自体にはスケジュールの都合上参加できなかったのですが、練習では良い汗をかきながら、素晴らしい人生の先輩方とお話をさせていただき、地域の一体感を楽しむことができました。次回は是非とも大会にも参加し、勝利に貢献したいと思います。ちなみに、東地区のお気に入りの場所は、ご近所の『ジムノペティ』というカフェです★



インタビュー

利根川サイクリングロードの備前橋休憩所にお花畑を作ってくれている矢内さん。これまで4年間、毎日水を入れた重たいタンクを休憩所まで運ぶという大変な苦労をしながら、きれいな花壇の整備をしてくださいました。そこで昨年、土木事務所と交渉し、水やりのための水道を設置することができました。「4月になれば、桜が見頃。水仙やチューリップ、薔薇、ひまわり、菊など、季節毎のお花が楽しめますよ。」と語る矢内さん。東屋のテーブルも矢内さんが毎日磨いてくださっているおかげで、本当にピカピカです。話をしている間にも、たくさんの人が休憩所を訪れ、ワイワイガヤガヤ。地域の憩いの場所になっています。ぜひ一度、備前橋休憩所を訪れてみてはいかがでしょうか?? (小川)



下新田町 矢内さん

ほんとうの所は誰も知りませんが、物質世界のどこかに住んでいて、東地区を見守る妖精のような存在です。市民の悩みや不満嬉しいや感動といった感情を頭のアンテナで集め、メッセージを発信しています。でも、姿はカンタンには見えません。脳ではなく心を澄ませてください。きつとあなたの側にいます。

